

『Open Data 500』日本版の作成について（事務局提案）

- 米国のオープンデータ活用ビジネス事例集「Open Data 500」の日本版の作成を目指す。
- 既に同様の取組を行っている府省・団体等と調整を行った上で、ひとつのプラットフォーム上に、オープンデータ活用ビジネス事例を集めることを目指す。まずは、100程度の事例を集めることをターゲットとする。
- 将来的には、アジア諸国のオープンデータ関連団体と連携・協力し、「Open Data 500 in Asia」への発展も視野に入れる（OKJ庄司氏から既に提案あり）。
- データ提供側（オープンデータに取り組む自治体等）の情報も併せて提供することで、活用・提供、両方の状況が可視化できる。（例：jig.jp福野氏作成中の「オープンデータ都市一覧」との連携など）

『Open Data 500』日本版（活用側）

- オープンデータ活用ビジネス事例の収集・共有。
- 経済産業省、内閣官房IT総合戦略室、OKJ等が、オープンデータ活用ビジネス事例の収集を始めており、これらとの連携・協力を打診。



オープンデータ都市一覧（提供側）

- オープンデータに取り組む自治体の最新状況を整理。
- 既にjig.jpの福野氏が「オープンデータ都市一覧」を作成中（2015-01-28現在、90都市を登録）。

将来的にはアジア諸国と連携して「Open Data in Asia」に発展させることも視野に入れる。